

Q 4 : 道徳教育をより一層充実させるための道徳の授業の改善方策としてどのようなものがあるでしょうか。

A : 道徳の時間の学習指導を、学級の実態、指導者の意図、資料の内容、他の教育活動等との関連などに応じて柔軟に発想することによって、次のような点から道徳の授業を改善することができます。

多様な形式の読み物資料の活用

(1) 多様な形式の読み物資料を生かした学習指導

・ 詩、長文の物語や伝記、劇、実話、意見文など、多様な形式の資料等の活用

体験を生かす工夫

(2) 体験を生かすなどの学習指導

・ 観察や調査、実物に触れる活動、様々な立場について考える役割演技、コミュニケーションを深める活動、感性や情操をはぐくむ体験等を取り入れること
・ 日常体験そのものを資料としたり、特にボランティア活動自然体験活動等の体験活動を生かしたりすること

各教科等との関連

(3) 各教科等との関連をもたせた学習指導

・ 国語科における物語文の学習、社会科における郷土や地域の学習、体育におけるチームワークを重視した学習、特別活動における集団形成の学習など、各教科等との関連をもたせた工夫

複数時間扱いの工夫

(4) 複数時間扱いの学習指導

・ 重点的な主題の学習を進める場合等における複数時間扱いの学習指導の工夫

学級経営との関連

(5) 学級経営と関連をもたせた学習指導

・ 学級環境づくりにかかわる内容や学級の日常生活上の問題とかかわりをもたせるなど、学級経営と関連を強く意図した学習指導の工夫

家庭や地域社会との連携

(6) 家庭や地域社会との連携を図った学習指導

・ 家庭での話合いを取り入れた学習、地域の人を招いて進める学習、家庭や地域への取材を含んだ学習等、家庭や地域社会との連携を図った学習指導の工夫

図書館や博物館等の利用

(7) 図書館や博物館等を利用した発展的な学習指導

・ 学校図書館や公共図書館、博物館、インターネット等を利用した発展的な学習指導の工夫

< 参考資料 >

『小学校学習指導要領解説 - 道徳編 - 』文部省 平成11年5月 p 73 ~ p 75

『中学校学習指導要領解説 - 道徳編 - 』文部省 平成11年9月 p 78 ~ p 81